

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
臨床実習3						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験
鍼灸学科・夜間部	3年	1・2期	大橋 理那・青木 春美			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野	臨床実習			実技	1	23
科目概要						
鍼灸臨床に携わる者として、患者のもつ諸問題を考察しながら適切な患者・施術者関係を構築するとともに、自らの知識・技術を広く応用させ、鍼灸臨床を実践できる事を目標に、医療面接、全身の視診・打診・触診、簡単な診察器具を用いる診察、皮膚消毒、刺鍼、施灸などの基本的な施術行為を教員による指導・監督の下に学生が施術の介助を行う。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		鍼灸臨床の実践を通じて施術に必要な技術を身に付ける。 また、自身の持つ課題に気づき解決する姿勢を身に付ける。				
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		医療面接で必要な情報を得る事が出来る。 指導教員に指示した徒手検査を実施する事が出来る。 治療計画を立案できる。 指導教員の行う刺鍼、施灸の介助が出来る。 診療録(カルテ)を作成する事が出来る。				
履修に必要な予備知識や技能						
教科書・参考書						
受講上の注意						
患者様の個人情報(カルテ)や、プライバシーへの配慮に注意すること。 衛生環境状、白衣で受講すること。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他 (合計)
評価割合(%)						出席数をもって単位を 100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物
第1回	付属施設にて実習を行います。 教員の指示のもと以下の様な内容を実施します。					
第2回	【医療面接】 ・傾聴、受容、共感ができる。 ・必要な情報を得ることができる。					

第3回	【診察法】 ・関節可動域を評価する。 ・患部を触診する。		
第4回		・徒手検査を行い評価する。 ・舌診	
第5回	・脈診(脈状診・六部定位脈診) ・腹診		
第6回	【触診・取穴】 ・ランドマーク ・軟部組織(筋、腱、靭帯、脂肪組織など) ・経絡経穴		
第7回			
第8回	【刺鍼技能】 ・ほぼ無痛で弾入切皮を行う。 ・指定された方向(角度)に刺入する。 ・指定された深度に刺入する。 ・指定された補瀉手技を行う。		
第9回			
第10回	【施灸技能】 ・適切な温度での透熱灸を行う。 ・適切な緩和処置を行う。		
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
第16回			
第17回			
第18回			
第19回			
第20回			
第21回			

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第22回		
第23回		
実務経験と本講義との関連について		
メールアドレス		
ohashi@nihonisen.ac.jp		